

| DP   | 到達目標   | 60～69点  | 70～79点                                | 80～89点   | 90～100点  |
|------|--|---|---------------------------------------|--|--|
| G, H | オシロスコープなどの測定機器を活用した電気回路の測定ができる。                                | グループで協力しながら実験データを取得できる。                               | グループで協力しながら全ての実験データを正確に取得できる。         | 実技試験において助言をもらいながら課題を達成できる。                     | 実技試験において助言なしに課題を達成できる。   |
|      | 抵抗、コンデンサ、コイルなどの回路素子および半導体素子の動作を理解して検証できる。また、論理回路の動作を理解して検証できる。 | 実験レポートにおいて理論や実験結果を述べることができる。                          | 必要な理論や実験結果を不足なく述べることができる。             | 図表も用いながら理論や実験結果を丁寧かつ分かりやすく説明できる。               | 左記に加えて全ての課題に適切に解答できる。  |
| F    | 実験結果に対して理論と照らし合わせて考察が行える。                                      | 実験レポートにおいて実験結果に対する考察を述べることができる。                       | 全ての実験結果に対して不足なく考察が行える。                | 数値を求める課題に対しても、妥当性を定量的に考察できる。                   | 左記に加えて、論理的かつ分かりやすく記述できる。                                       |
|      | 実験結果をまとめて報告すること（技術文書の作成、プレゼンテーション）ができる。                        | 実験レポートをまとめ、期限までに提出できる。また、グループで協力してプレゼンテーションを行うことができる。 | 指定された構成でレポートを作成したりプレゼンテーションを行うことができる。 | レポート作成の手引きやプレゼンの注意点を概ね守ってレポート執筆やプレゼンテーションができる。 | レポート作成の手引きをしっかり守って丁寧にレポートを執筆できる。さらに、プレゼンテーションに対する質問にも適切に回答できる。 |